

HAND in HAND

はんど・いん・はんど

〔情無い時間貧乏精神〕

■空ゆく雲に秋の気配を感じる今日この頃。お元気ですか。早いもので来年の6月にニコニコ離婚講座が150回を迎えます。そしてこのハンド紙は来年10月1日発行分が149・150号の合併号となります。そこで来夏は、合同の150回記念シンポジウムと手作りパーティーでもやろうかと思ひます。バザーとか、皆さんの仕事や活動を紹介するコーナーなど、大勢の人が参加できる交流会を考えています。アイデアお寄せください。10数年前は札幌・大阪・水戸とびまわってハンドの会に出ていた私も、この頃、ちっとも時間がとれず、皆さんの顔も知りません。すっかり時間貧乏になってしまったみたいです。

■実はこの原稿、羽田の空港ロビーで書いています（9月4日午前10時半）。小松行きの9時55分の便に乗り遅れたのです。6時に起きて、娘のお弁当を作って（給食室改装中のため）、十分間にあう時間に出たのに！！「まだ飛んでないんだから乗せてよ」「満席ですし、15分前に締め切りました」もう真っ青になって、時刻表を調べた。小松行きは1時までなし。金沢の近くの町で1時15分から講演会が始まるというのに。11時40分の富山行きを予約し、富山から車を飛ばすことにして、主催者に平謝り。とにかく急いで行きますと言ってもどうにもならない。そのうえ、富山便も満席で空席待ち。つまり今、ドキドキしながらこれを書いている訳ですが、ぎりぎりのスケジュールで走っているから、こういうことになってしまう。余裕がないんですね。単に時間がないだけでなく、効率良く時間を使おうとしすぎる時間貧乏な精神をつくづく反省しているところです。

（円より子）

海を渡る鳥は、波間を漂う流木に憩うという。離婚—それは旅の半ばの一つの出来事。新たな旅立ちをした女たちはいま手を取りあい、女であるがゆえの偏見と差別に向きあう。ハンド・イン・ハンドは生きやすい社会をめざし、支えあう女たちの流木である。

第137・138合併号 400円

禁無断転載

【発行日】1992年10月1日

【発行所】現代家族問題研究所
東京都渋谷区千駄ヶ谷1-3-23-504
〒151 電話03(3402)7354、4385

【発行・編集人】円より子

【スタッフ】雪野美子、小林千佳子

【印刷】鶴日出版

138

★ negative

楽しい孤独への助走2

の場合

あと10年は働きたい
そしてビデオカメラを回して作品を作りたい

kodak 500

この人とはやっていけそうもない。そう思いながらも離婚にはなかなか踏み切れないものだ。妙子もそうだった。

大学を出た年に恋愛結婚をした

のだが、その時、サラリーマンだった夫は働くことにも生活することにも気力のあまりない人で、やがて退職、無職となった。

既に2人の子ともがいた。中学生の長女と小学生の息子。

妙子は悩んだ。

数年前から自宅を教室にして、近所の子どもたちに英語や算数を教えていた。経済的に一本立ちできる自信はなかったが、価値観の違いやさまざまなことからやっていけないと感じている夫と顔を突き合わせて暮らしている不衛生さを思うと、別れて経済的に頑張れないことはない。

しかし妙子は踏みとどまった。それは、たとえ家の中でゴロゴロしている父親だって男の子にとってはやっぱり父親が必要なのではないかという思いからだ。

もちろん、この人だってそのうち変わるかも知れない、私だってうまくやっていけるかもしれない、そういう思いもあったろう。

一度は深く愛し、この人と一生苦楽を共にしていこうと決めた相手。そして、子どもまで産んで共に暮らしてきた相手。それをそうたやすくは切り捨てられない。

離婚したほうがいいのかもしいないと思いつつ、実際に踏み切るまでに長い年月がかかってしまうのは、未練とも少し違う、こうした過去の自分の決意や思い出を捨て去れないという思いがひっかかるからだ。

しかし5年前、妙子は夫に引導を渡し、離婚に踏み切った。

「別れたほうがいいんじゃないか」

18歳になっていた息子の言葉が引き金となった。

その頃、夫は商売を始めていたがうまくいかず、自宅を抵当にしていた。妙子は自分の仕事についても離婚後の生活についても長期的な展望などとても持てない状況の中にいた。その場しのぎで仕事をしていた。

「今考えると最悪の時でした。」

妙子はそう言って今は笑う。

私はこれまでに1万人ほどの女性の相談を受けているが、離婚というのは追い詰められて最悪の時だからできるものかもしれないという気がする。

妙子から離婚話をされた夫は家を出た。その2カ月後に離婚が成立した。

夫の借金で抵当に入っていた家に妙子と娘と息子の3人が暮らすことにはなったが、財産分与で3分の2を妙子名義にしてもらったため、連帯保証人にならざるをえなかった。

夫名義の持ち分に関しては弁護士に頼み、抵当を抹消、娘の名義に書き換えてもらった。そのため夫に解決金を支払わざるをえず、500万円の借金をし、現在、月に13万円近い返済をしている。「夫名義の家に住んでいると、いつまでも他人になれないようにやだっただけですから」

財産分与で家をもったといっても借金ができたわけだが、それは「家賃なしで住める家」さえあればなんとかなると思ったのと、妙子はそこを基盤にして仕事をしていくからである。

既に自宅を教室にするのはやめて、車で10分ほどの団地の中にある集会所を借りて学習塾を開いていたが、自宅を離れないほうが良かったのだ。

「夫の商売がなんとかうまくいくようにと思って借金の連帯保証人になったのだから、それは仕方がありません。まあ、元気で働いて

いるし、何とか借金も返しているから」と妙子。

もの静かで知的な妙子の、どこにそんな強さがひそんでいるのかと思う。

妙子の学習塾は今、生徒は70人いる。たいいていの子が週に2日通ってきて、算数と国語の2教科、中には英語を入れた3教科の勉強をする。

一人一人の子どもに合わせた教材をセットし指導し採点をするため、妙子の他にアシスタントで働いてくれる人が5人いる。

教室は週2回、月・木の午後2時半〜9時まで開けていて、子どもたちは都合のいい時間にやってくる。

教室の開けない火水金土日の5日間は教材研究の日で、彼女の学習塾の看板であり契約をしている本部に報告書を出す。講習会に参加する。さらに生徒たちの親と連絡を密にするため父母懇談会も開く。

「つまり毎日が仕事。休みの日はないんです。でも夫という時のようなストレスはまったくなくなっただので、今はとても仕事がいやらしい。時間的にも楽ですね。女は1人のほうが。全然疲れません」

実際、5年前50歳の時に「最低あと10年働こう」と思ったのに55歳の今「まだまだ10年は働ける」と思っている。

ただ、子どもの数が減っているし人件費がかかるようになってるので、この仕事も大変である。先行きそう明るいものでもない。

しかし、妙子はあるものだ。たった7人の生徒から始まった

彼女の学習塾が今、10倍の生徒が来てくれている。地道に、生徒一人一人に合う教え方をし、生徒からも父母からも信頼を得続けていること。それをしっかりやっていければいいと。

アシスタントの人たちはほとんどが近所の主婦だ。

「昔うちに来ていた生徒の母親とかが協力してくれているんです。自分の子もここで世話になって良かったという思いが、子どもたちを親身にみてくれることになっていて嬉しいですね」

妙子自身は、昼も夜もなく、そして塾の休みの日も前述したように働き、また塾のある日も朝から教材のセットをしたり、言ってみれば1年中無休で働いている。

「好きなんでしょね、この仕事

が。やっぱりとても面白い仕事なんです。子どもや母親の変化など、とても興味がありますし、喜びでもありますし」

生きがい、やりがいのある仕事だからこそまだまだ働けると思うのだろう。60歳になった時も、彼女なら「まだまだ10年続けたいわ」と言っているのではないだろうか。

今、彼女は会社に勤めて翻訳の仕事にたずさわっている娘(27歳)との2人暮らし。息子(24歳)は働いて独立している。

家事の分担は、平日の料理は妙子、休日の料理は娘となっている。

「親子というより、好みも似ている、とても暮らしやすい共同生活者という感じ。依存しあわず、でも頼り合える。とても今、いい関係で暮らしています。2人ともドライブが好きなので、よく一緒にあちこちに行くんです」

夜も妙子は仕事をしていることが多い。生徒に出す賞状を作ったり、親に読んでもらう新聞を発行したり、やることはいくらでもあり、時間をもて余したり一人であることが寂しいと思ったことはない。「でも、娘がいるとついおしゃべりしてしまっただけで仕事は後になって

しまうんです」

娘の話をすると、彼女の顔は楽しそう。この娘さんが結婚して出て行き一人になった時のことは考えていますか、と質問してみた。

「人間ってもともと一人ですから、もちろんそういう時はそれで仕事や趣味という生きがいを持って楽しくやっていくと思います。でもうちの娘、結婚しないんじゃないかしら。」と笑った。

まだ、あまり一人になることは想像できないようだ。

では、妙子の経済的後設計はどうなっているのだろうか。

まず現在の収入だが、月謝として入るのが、小学生1科目につき6000円、中学生1科目につき7000円で、合計収入からまず

老後設計診断希望者を募集

★

自分の今の家計では、また仕事では、老後にどうそなえるのが一番有利なのか診断して欲しいと思う方は、編集部にご連絡ください。

円より子がお話をうかがい、専門家に診断してもらったものをお知らせし、シリーズの一つとしてこのハンド紙上に載せさせていただきます。

本部に40%を納める。その残りからアシスタントの給料や教室として借りている集会所の家賃、PR日など諸経費を支払う。

そしてその残りの、およそ39万円ほどが彼女の1カ月の収入となるわけだ。

ここから、例の借金13万円弱を支払うと26万円だが、彼女はここから、毎月12万円を年金として積み立てている。

「国民年金と個人年金、それに個人の事業主は退職金がないので、退職金として入ってくるようにと積み立てているものなど、全部で12万くらいになるんです。」

こうした年金は48歳から49歳くらいに掛けたので、掛金が高いわりには、65歳になっても月5万円くらいしか入ってこない。これではとても年金暮らしはムリである。

「若い時から入っていたほうが有利とわかってはいたんですが、48歳前というのは月に1万円を年金とかなにまわす余裕すらなかったんです。やっとかけられるようになったんです」

とはいっても、実質的に使える額の約半分を年金に使ってしまった

て生活はできるのだろうか。

「家賃はいりませんし、田舎ですからそれほど生活費はかかりません。美容院なんてほとんど行きませんし、着るものもバッグも5年以上使っているものばかり。せいぜい下着やバジヤマも入れて月1万円使う程度です」

ただ、庭付き一軒家とあればけっこう年月が経つにつれ修理代がかかるようになって大変。

「それは娘に甘えさせてもらっているんです。」

娘は「いつでも使って」と銀行通帳を渡してくれている。

そこで家の修理代のように多額のものには妙子と娘の折半でということにしているのだ。

「健康的な限り自分の生活は自分で責任を持ちたいと思っていますので、老人ホーム等にも行く気はなく、ずっとここにいますつもりです。だから病氣しないようにと健康には気を付けていますけれど、いっとうなるかはわからない」

ということで、妙子は13万円ほどの生活費から、病氣等の医療のために1日8000円が出る特別の生保も掛けている。これは寝たきりになった時に月10万円が出る

ことになっている。

「10年後20年後の10万円が役に立つものかどうかわかりません。でも、全く無いよりは10万円でもあるほうが娘や息子に迷惑をかけないでいいんじゃないかと思う」

聞いているだけで、年金だの保険だのの占める比率が大きくて、そこまでしなきゃならないのかなと思ってくる。家もあるのに。と、つい私などは、働けなくなったら家を貸すとか、売るとかもできるんだし、と呑気なことをいったら……

「私の家のあるあたりはバブルの時だってそう高くはならなかったし、すぐ売ったり貸したりできるようなところではないんです。住むにはいいところですが資産的価値はないから当てにできません。だから、これだけ掛けていて貯金はまったくできない。3分の2が掛け捨てですから長生きしなきゃ損ですよ」

そう言って笑う妙子。好きな仕事を続け、毎日、興味を持って生きているから、しっかりと長生きできるに違いない。

仕事以外にも好きでやりたいことは多い。今、ビデオに夢中だ。

3年前から、大阪の婦人会館で

行なわれているビデオ講座に通っている。昔から映画が大好きで、大学卒業前、仕事をするなら放送局で、と思っていた。

それがすぐ結婚してしまい、カメラを握ることも、フィルムの編集もしたことがないが、ずっとやりたいたいという思いがくすぶっていた。

ビデオ講座に通う時間を見つけたものの、そしてビデオカメラでの撮り方や編集の仕方まで習ったものの、実はビデオカメラを買うお金がなかった。

やっと最近、小さいビデオカメラを購入した。嬉しくて嬉しくていろいろ撮って歩いている。

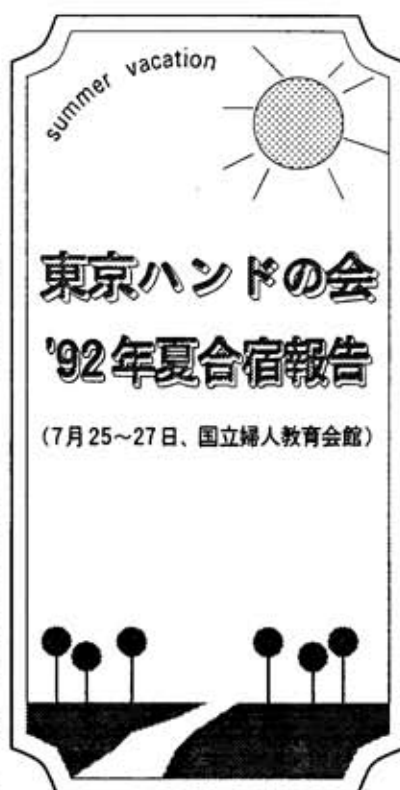
「連帯保証人で負わされた借金があと数年で終わるので、そうしたらビデオ用の機材ももっと買えるし、編集もして自分でビデオ作品を作りたいと思うんです。ボランティアのグループや市民グループの活動などを撮って、PR用などにできればいいなと夢をもっています」

今は月に小遣が2、3万しかとれないが、それがほとんど本とビデオと映画代に消えているという妙子である

(文/円より子)

7月25日から3日間、埼玉県国立婦人教育会館にて、ハンドの会「92夏合宿」が行われました。焼けつく夏の日さしも跳ね返す程の、パワーあふれるその模様をご報告したいと思います。

今回の夏合宿は、子育てを終えて、あるいは子どもとの生活とは切り離して一人の女の生き方を考える「シニア組」と、「子育て真っ最中組」の2つに別れて行なわれました。参加者はシニア組13名、子育て真っ最中組20名、子どもが24名。その他スタッフとして、蟻塚先生、村井先生、三沢先生と今井さん、加藤さんが参加してくださいました。途中、事務所の安住さんと向井さんも円先生の代わりに出席してくれました。



円先生は今回、初めて合宿に参加できませんでした。これは選挙当日と重なったため、先生がこの選挙に出られた事は、私たちにとても大きな希望になったと思います。皆、応援をしながらの参加となり、また同時に今まであまりにも先生にオンブにダッコだったと反省したりもしました。

日程は別表の通りですが、全日程充実したもので、紙面の都合上全てをレポートできないのが残念です。

シニア組からの報告

初日は、今一番問題としているのは何か等を知り、今後の会の方角性を作る為のアンケートを行ないました。アンケート結果は次の通りです。(回収10名)。

1. 生まれた年はいつですか?
昭和1年〜10年: 1名
11年〜20年: 8名
21年以降: 1名
2. 今の住居は?
持ち家: 5名、賃貸: 5名
3. 同居の人数は?
一人暮らし: 2人、2人・3人: 各3名、4人以上: 1名
4. この合宿に参加することにした理由(いくつでも)
ハンドの人たちとおしゃべりがしたかったから: 3名
シングルの仲間を求めて: 3名
ネットワークを広げたい: 5名
旅行気分: 2名
5. シングル暮らしで快適と思えることは(自由回答)
自由(金、時間)気兼ねのない生活
6. シングルの暮らしで不安なこととは(自由回答)
健康: 5名、経済: 4名、不安がない: 1名

2日目、このアンケート結果を元に数種類の資料(自分を診断し見つけ直す診断チェックリスト、情報化社会の中で必要な情報を採り入れて行く精神状態や能力を作り出す必要性について書いた記事の

午前中は世話人の さんの「何をしに来たのか分からない状態にはしたくない。何かを持って帰って欲しい。持ち合っておしゃべりする会から友達の域を出てそれだけの足りない部分を補いあえるようにするのかもしれない」というお話を口火に、話が進められました。以下、幾つか抜粋してみます。

●「どういった時に孤独を感じますか。M(49歳)「私は孤独に慣れている。以前、家族といった時の方が、例え

3日目(7/27)		2日目(7/26)		1日目(7/25)	
午後 散会	午前 全体でのまとめ	午後8時から懇談会	アンケートに基づいてディスカッション	午後8時から懇談会	シニア組 午後1時集合 全体での自己紹介
					午前 フリーテーマ ディスカッション
					子育て真最中組

ば息子といても話が食い違うのでかえって孤独を感じた。今は暇もないし、友達もいるし孤独は感じません。」

S (51歳)「以前、主人、主人の両親、娘と住んでいた時の孤独感はすごかった。習い事をしたりいろいろすればするほど孤独を感じた。今はキリキリした気持ちになくなって、結婚前と同じ穏やかな気持ちです。」

H (52歳)「自分で選択した人生を歩き始めたと思うからマイナスイメージになっていない。必要とされていると暮らしに張りが持てますね。」

●老後について考えていますか。

H「自分の人生を考えた時、この人とは合わないと考えて離婚するのも、老後を考える一つのきっかけではないだろうか。」

K (43歳)「現実の、毎日の生活が大変で、子育てが終わった時には老後だったという人が多いと思う。私は離婚の時、老後の事は無我夢中で考えられなかった。」

M「135号の鈴木さんの老後設計は、数字がキチッと出ていてすごい。これは37年間働いて来た人のデータで男の人と同じだと感じ

ました。」

K「あの数字は37年間我慢した代償と思う。でも男性より少ないですね。」

H「7年程前私のセカンドハウスに関する記事が新聞に掲載された時の生活設計と、今現在の老後の設計は相当変わってきている。」

Y (64歳)「書いた後の設計はまたどんどん変わって行く。設計したものは夢みたいなので、現実はこのなにも違ふとびっくりする。」

K「私はまだ子どもが一緒に、子育て後が不安。」

S「40代の人には50代が未知で、50代の人には60代が未知で不安なのだと思う。」

H「身近な人を手本にして、自分はこうしよう、頑張ろうと考える事もある。」

A (49歳)「自分で決断して、離婚を勝ち取った人と、受け身で決断した私とは違う。」

K「それぞれ違うんだから、人と比べても駄目だと思う。」

H「これからずっと受け身を引きずって行くかどうか変わって来ると思う。元気な人一人一人にどうして離婚したのか聞くのもいいし、人の話を聞いて参考にするの

も方向が見えてくるのではないかしら。」

この他にも、お墓をどうするかという話等、思わず自分と置き換えて考えさせられました。

子育て真っ最中組からの報告

初日の午後は自己紹介の後、4つのテーマに沿って2日目の午前中まで、白熱したディスカッションが繰り広げられました。

テーマ① 子どもが保育園や学校で受けている差別

Y (40歳、娘15歳と10歳)「先生は明らかに偏見を持っていると思う。単親家庭だからではなくて、うち

はこうなんだ! と打ち出しておくと、相手はそれ以上言えない。」

SA (41歳、娘1人)「大声ではっきりものを言うということが大切ではないでしょうか。相手のタイプにもよるし、先生の人間性の問題でもあるけれど。」

テーマ② 面接交渉権

面接交渉権についての悩みは、自己紹介の時に一番多くのお母さん方がおっしゃっていた事でした。

U (34歳、娘2人)「子どもが7カ月の頃から別居していたが、月に1度の面接交渉権を決めたので初

めて会わせたとこころ、おしっこを漏らすようになってしまった。」

H (息子3歳)「息子が1歳半の時に離婚。保育園でお父さんの話が出ると、引っこいたりする。写真等一切見せていない。父親との関係をどうしたらいいか悩んでいる。」

A (32歳、娘3歳)「妊娠9カ月で夫は蒸発。その後見つかったが1年に1度会う程度なので、子どもは絵本とかでしか父親を知らない。捨てられたという思いだけは持たせないようにとは思っています。」

等、数々のケースで「父親と会わせること」についての様々な悩みを抱えていらっしゃるの印象を受けました。それを受けた形で行な

われたテーマディスカッションの中で特に興味深かったものを少し。

Y「うちは10年程前離婚して、最初は逃げ回る父親を取り捕まえて会わせていた。でもイヤイヤ会うので、その後の子どもの精神状態が良くない。で、しばらく会わないでいるとやっぱりお父さんて凄く素敵なものじゃないかと思っちゃう。それで会いに行くと、ナンダ寝てるだけかと思うわけだけど、私はそれでもいいから会って父親という一人の男、人間を評

価値して、その中で一人の人間と付き合うやり方を学んで欲しかったのでわりと無理やり会わせていた。ただ、私の生活も大変になって会いたくないんだっていいわよっていう形で切り離したんだけど、子どもが自分で考えて、父親に図書券を送ってもらおうようになって、それが習慣になりそのうちお父さんに本屋で欲しい本を探してもらおうようになった。そうすることで、お父さんに捨てられたという気持ちは大分薄らいできている。やはり会っていないと心の底に捨てられたんじゃないかという不安が起ることがあるんです。それだけであって欲しくない。本当にそうだとしてみね。」

このお話には、面接交渉権のいろいろな問題点や解決方法が集約されているように思います。2日目の午前中出席してくださった三沢先生のお話の中にも、子ども自身が父親像を作っていくことの必要性、また、子ども自身が「会う権利」を考える必要があるのではという話がありました。しかしながら、相手に問題があった場合、会えない、会わせたくないという方もいます。



E (29歳、娘7歳)「後妻だったのでも先方にも2人子どもがいて離婚後も子どもを行かせていたが、預けた時に父親自身は不在でその彼女に犬の真似をさせられたことを知り、一切関わりを持たないことにした。」

F (42歳、息子9歳)「子どもは会いたがるが父親がどうしても会いたがらない。一度約束をして連れて行ったが引越してしまっていた。息子は今でも僕はお父さんに捨てられたと言っている。」等、身につまされながらうかがっていましたが、最後に三沢先生のおっしゃっていた「母親が守って体験させない」と未成熟な子どもを育てる。つらい体験を通してこそ子どもは成長していくのであって、ほとん

どの子どもは乗り越えられるはず。」という言葉で少し光が見出せたような気がします。

テーマ③ 子どもに離婚をどう伝えるか

離婚を子どもに伝える時期、その方法等で悩んでいるお母さん方、私もその一人ですが、三沢先生の次のお話が参考になればと思います。「保育園の時期は空想の世界を持ってしまっているので、影響がやすいと思います。いずれにしても、離婚は両親の問題であなただけのせいではないとわからせる必要がある。小学校の上級生ぐらいになったら真実はそのまま伝えても受け止められるし、親に受け入れ態勢ができていると見れば子どもの方から出して来ます。」

テーマ④ 離婚をしたことで女性

が社会的に差別されている事
以下、夫婦別姓の事やハンドの学校を作りたいという話、今後のハンドのあり方について等、多方面にわたる話し合いが持たれました。

その中でハンドの合宿のようなもの（ここにきて元気が出たと思える場所、子ども達が自分にも行く所があると思える場所として）を頻繁にやりたいという意見もあり、

それにはやはり世話人の人に任せておけばできるというものでなく、やる気になって取り組む人が集まって皆でやっていきましょうということが話し合われました。

それともう一つ、「読書会」を開く事にしました。この事については、後日改めてお知らせします。

子どもの会からの報告

今回、さん、君が

中心になってくられて行われた子どもの会は、特に2日目の川でのキャンプがメインイベントとなり盛り上がりしました。スタッフの先生やお兄さん達と一緒に50分の道のりを、炎天下を歩ききり、川で泳ぎスイカ割りをしてと、存分に遊んで来ました。麦茶が乗っているはずの赤い車が通るたびに歓声をあげたりがっかりしたり。おにぎりがなかなか到着しなかったりのハプニングもありましたが、それもまた楽しかったのではないでしようか。真っ黒に日焼けして、一段とたくましくなった子どもたちでした。中学、高校になっても続けられるいい土壌を作りたいという主旨で行なわれたこの会が、今後もどんどん皆の協力で行なわれ



るといいなと思いました。

お伝えしきれなかったのですが、懇談会や各部屋での夜のおしゃべり、雑談の中にもいろいろ充実した話やおもしろい話がたくさんありました。最後には、連絡先を教え合ったりまた会う約束をしてそれぞれ帰路につきましたが、貴重な3日間を過ごすことができて本当に良かったと思います。

「シニア組を担当して」

ハンドの発送などに関わって7年位になる。毎号、表紙に載るコメント、それは、表紙の左下「海を渡る鳥は、……」私はそこを必ず読む。とても好きなコメントである。ハンドの仲間こそ、「加齢の美」を認め合う者同士と思っている。

今回のシニア組では、2人また

は3、4人と、既に情報を交換し合っている集まりでもあったように思う。そして、東京の会でこの合宿を企画したことをきっかけに、今一歩前進したものへとするため担当することになり、それほど知識はないけれど、シングルの暮らしを適当にエンジョイしている一人として、日頃拾っておいた情報を持ち出して参加した。

老後の設計として健康、経済、生き甲斐とあるが、各々個人差はあるとしても、ネットワークを求め、気持ちは大抵の人が等しく持っているように思う。血縁、知縁、地縁、これまたその関わり方も個人差があるだろう。しかし、人間関係には利害がついて回ることが多い。それによってその関わり方が、建前であったり、本音であったり、誠に複雑で、ストレスの発する要因になるように思う。

このシニア組は知縁の関係である。そしてこの仲間では、相互を認め合いながら、その生き方を本音で語り、充実した時間を共有して行きたいと考えます。

時折誘い合って情報を交換し、時には寝食を共にして信頼を深め合

い、平均余命の伸びている分、心豊かな人生を育んで行きたい。一人では持ち得ない経験でも、互いにその情報を分け合って生き甲斐にしていきたいと思います！

「子育て真っ最中組を担当して」

ハンド・イン・ハンドの会の自主運営で行なわれた初めての夏合宿でしたが、円さんの不参加にもかかわらず充実した合宿となりました。私個人としては話し足りない気持ちが残ったものの、参加して下さった皆さんの話を聞く事に専念する事で、かえって問題を整理し、今後のハンドの会に必要なことが見えてきたような気がします。

今回の合宿の成果は、シニアグループの充実とハンド子ども会の発足でした。シニアグループといても、子どもがいる無しに関わらず一人の女として生きる事をテーマとしていますから、子育て真っ最中の人たちにも興味のあるテーマです。隣りのテーブルで話されている事について話をとられたりしながら、子どもの問題だけじゃなく、様々な角度で女性の生き方を支える態勢ができてきたと心

強く思いました。ハンド子どもの

会は、親に話してもわかってもらえないことや、学校の友達に話すと変に同情されたりして面倒くさいといった事を自由に話し合い理解しあえる場として独自に活動して行くもので、今後とも増え続ける離家庭の子どものために彼らの経験を役立てて行けるものです。これが子どもたちの中から自主的に出てきた事に、10年を越えるハンドの活動の成果を見たような気がします。国立婦人会館では中学生以上の大人扱いのため、今回参加の2人の中学生にはスタッフとして子どもグループのリーダーをやってもいいましたが、2人とも一人前以上の働きをしてくれ、小さい子達の良き先輩としてその存在を確立させました。今後もこういった形で子ども達のネットワークが広がって行く事がとても楽しみです。今後は、一番ネットワークを必要としながら、子どもが小さいために参加できずにいる会員のために、乳幼児、学齢児等、それぞれの年齢や状況に合う様々なベビーシッターを多く確保して、合宿等の活動を支えていく態勢を充実させたいと思っています。



第78回

東京 Yさん

【家族構成】

私 (37歳・会社員)

長男 (6歳・保育園)

【住居】 公営団地

一昨年の冬に離婚し、子どもと2人の生活がそろそろ2年になるところです。

派遣社員としてですが、足掛け6年ほどずっとある会社に勤め続けてきましたので、月の手取りが現在23万と経済的には安定しています。ボーナスはありませんが、派遣なので残業がなく5時きっかりに帰れるのがよいところです。

養育費は今のところ毎月きちんと息子の口座に振り込まれてきます。元夫の先輩が弁護士で私達の離婚にも立ち合ってくれて、不払等何かあったら連絡をくれれば自分が彼に話をしてあげるからと

家計簿内訳

(1992年6月21日～7月20日)

【収入】

給料(手取り)	230,000円
児童扶養手当(国と都の両方で)	35,770円
養育費	30,000円
計	295,770円

【支出】

食費	22,000円
家賃(公団住宅)	40,000円
光熱費・電話代	8,000円
新聞代	3,650円
保育園関係費用 (月謝、積立金、父母会、絵本等)	10,950円
衛生費	3,300円
自治会費	500円
子ども用品	3,000円
家庭用品	1,000円
クリーニング代	3,850円
カード支払い	5,000円
その他	2,100円
保険・貯蓄(国民健保、 定期付終身年金、学資保険)	192,420円
計	295,770円

言ってくれているので心強いです。家計は内訳をみて支出が随分、少ないことに驚かれるかもしれません。

私がこれは事実。小さい頃から物を大切にし、水や電気等の無駄使いを無くすよう母から非常に厳しくしつけられましたから、その習慣が身に付いての結果です。

食費ですが、私は週に1回だいたい土曜日に、その週の分の食品をまとめて買うようにしています。その方が毎日買い物をするより無駄使いをしなくて済みます。買うのは特売の安い野菜や肉・魚類。これらは帰宅後すぐに冷凍保存し、それで続く1週間の食卓を賄うわけ

です。このため食品を腐らせて捨てたことがあります。

「あれとあれを使ってこれを作ろう」と工夫して料理するのははちやうどパズルのような面白さがある。私は好きです。安い材料で栄養のあるおいしいおかずが作れたときなんかは、ちょっと得意で嬉しくなってしまう。

外食はほとんどしません。会社にもお弁当持参で、飲み物もジュース類は好きではないのもつぱらタダのお茶。110円あるならジュースより野菜の方を買いたいと考えてしまうわけです。

子どもにも無駄使いはさせず、

スーパーに行く度に何か買う習慣も付けさせないつもりですが、それを知ってか知らずか、お菓子も欲しがりません。よく子どもには惨めな思いはさせたくないからと簡単にお金を渡したり、無理して贅沢させたりしてる人がいますが、私は賛成しません。

母親がしっかりと「そういう生活をする！」という信念さえもってれば、子どももちゃんとわかってガマンするものだと思うので

とにかく「迷ったら買わない。無駄なものを買わない。必要最低限のもので生活しよう」というのが私の基本姿勢。

見方によってはケチととられるかもしれないし、無理をしているように見えるかもしれませんが決してそうではないのです。

衣服や家電をはじめとする、一つ一つの物を長く大事に使い、お金をかけずに物事を楽しむことの素敵さを忘れず、ささやかなことでも楽しめる気持ちを大切にしていきたいと思っています。お金さえ出せば何でも買える豊かな時代だからなおさらです。



ハンド編集スタッフ

の

子連れ家探し顛末日記

去年の8月、現在住んでいる代々木に越してきてから約1年。家賃約12万円で、6畳と3畳の和室と4畳あるかないかの台所と風呂という間取りで、5歳の長男、3歳の長女と私の3人で暮らしています。

母子家庭のアパート探しは難しいと言われる中、私の場合はどのように探したか、どのへんが難しかったのか、手前みそな話で恐縮ですが、当時の日記をもとにちょっと辿ってみたいと思います。ちなみにこの時点ではまだ別居中でしたが、もう2年になろうとしている時期で、アパートの更新料も払わなくてはならず、そろそろ決着をつけたい、と心機一転を図っている時でした。

☆ ☆

5月×日 毎日、送り迎えが2カ所はきつい（調布に住んでいたのですが、下の子が認可の保育園に入れなかったので2駅下ったベビーホームに入れていました）。仕事も忙しくてとても9時半から4時半の間ではこなしきれない。もうくたくただ。近いところに移りたい。

5月×日 本屋の店頭にあった住

宅情報誌を全部買って来た。離婚は確実に決まっていることだし、その後の生活を考えたら、毎日少しでも楽な方が長続きするはず。代々木に引っ越そう。

6月×日 現在の家賃は7万6000円。家賃としての予算は、できればこれ以上あげたくないが、都内なら児童手当が扶養手当の他に2万円もらえる。住宅情報誌で見ても、代々木で8万円はワンルームでもほとんどない。10万円でもワンルーム（約30㎡）か。この際少々狭くても仕方がない。当たってみよう。

6月×日 何件か不動産屋に電話してみる。「とにかく来社して下さい」というところばかり。一件、親切そうなおじさんがいたので率直に「母子家庭なんですけど、狭くてもいいから子どもがいてもいいという所を探して」と頼む。「探しておいてあげよう」とのこと。

6月×日 代々木への転居手続きをする。8月1日から（家が見つかったからでは遅いので。ただ私の場合、職場が代々木にあるので、居住地が決まっても手続きできましたが、そうじゃない人は大変ではないかと、常々疑問に思

っています。あと1カ月と何日しかない。転居と転居のタイミングが難しい。

6月×日 社長が知り合いの不動産屋さんに頼んでくれる。が、12万以上じゃないと無理ということ。引き続き探してもらおうことにして、もう一件地場の不動産屋さんにも頼んでくれる。これも、子どもがいると難しいが探しておくとの返答。

7月×日 代々木に6畳2間と6畳の台所で10万円という所がある！早速電話してみる。とにかく来社してとのことなので、明日行くことにする。

7月×日 新宿のはずれの不動産屋に行ってみた。大きな指輪をしたパンチパーマの支店長が応対してくれたが、子どもも連れていたので少々ビビル。おまけに、その物件は実はヤクザの事務所の隣りだということで（よくよく考えてみれば、代々木でその広さで10万というには訳ありなわけですが）これはちょっとマズイところに来てしまった、と思うがもう遅い。外見は怖そうだが案外という事もある。ここは一つ事情を素直に話してみようと度胸を決める。するととて

も親身に相談に乗ってくれて、つきっきりで2時間近く電話で聞いてくれたり、ファックスを取り寄せてくれたりして調べてくれた。結局子どもがいるという事と、予算がネックになって何処もだめで、やっと一件かなり狭いが条件に合うところが見つかったので大家さんに問い合わせたけれど、私の収入と保証人(父は年金暮らしで保証人にはなれないというので弟にしました)が条件に満たない、と断られる。

こうなったらこういう手しかない、と教えてくれたのが、大家が遠方に住んでいるマンションに子どもの事を隠して入居するという方法。それでまた探して、西新宿に広めのワンルームがあったので問い合わせたけれど、今度は収入、保証人ともOKがでた。後1

カ月もないし、他で探しても同じような状況が予想されるので、取り敢えず1万円だけ払って仮契約してしまった。他にも探しておくし、もし違う物件で契約しても有効ということなので。

7月×日 仕事の合間に、情報誌でコレと思った所は、精力的に足を運んでみるがやはりない。今日

は渋谷の道玄坂の上の不動産屋へ行って見たが、剣もほろろで取り合ってくれない。母子家庭という以前に、子どもがいる、というだけで駄目な所が多すぎる。予算の問題もあるが。

7月×日 頼んでおいたところは、何処も物件がないという返事ばかりで、地場の不動産屋を当たったほうがいいというアドバイスはもらったが、見当たらない(実際住んでみると結構あったのですが)。やっと駅裏で一件見つけて当たってみる。ここでも母子家庭ということでは先に言ったが、親切にいろいろ探してくれた。千駄ヶ谷に理想的な物件を見つけたが、大家さんが不在で、また明日行くことにする。どうか、クリアできますように。

7月×日 収入、保証人共に問題ないという電話をもらい、物件を見せてくれると言うので、喜び勇んで行く。少し古くて汚いが、間取り等気に入ったので正式に契約しようと思ったが、肝心の子どもを聞くのを忘れたという。聞いて貰ったが、結局駄目! なん

7月×日 また情報誌とニラメツ

コ。新宿の不動産屋にいい物件があったので行って見たが、やはり子どもがいては駄目とのこと。これも親切で、熱心に探してくれたが(他の人達も一緒になって。かえって、母子家庭のことは先に率直に言った方がいいように思えます)、子どもがいると何処も駄目。ここでも、オーナー不在マンションに偽って入るしかないというのもう仕方がないか、と思う。笹塚の、西新宿のより広く2間あって日当たりもいい10万円の物件の仮契約をし、1万円を払う。

背水の陣と言えは聞こえがいいけど、かなり無謀だったかなあ……! と思い始める。が、退園届も受理されているし、とにかく今の所よりはずっと近くなる。いずれにせよ、離婚したら家を探さなくてはならないのだから(調布のアパートは主人の友人の紹介で短期契約していたのがずるずる長びいていましたので)もうここに決めよう。これ以上、仕事に穴はあけられない。

7月×日 10万円の手付け金を払う。

7月×日 ここ2、3日憂鬱。決めたはいけれど、10階で火事にて

もなったらどうしよう(下見をしてきたのですが、エレベーターホールを囲むように4つ部屋があり、外階段がなかったのです)。子どもが騒いだらばれないかしら。ひそひそ暮らすのは嫌だなあ。代々木に住んで、会社も保育園も自転車で行く夢が捨てきれない。神様、お

7月×日 最初に仮契約していた不動産屋の人から電話があつて、代々木に子どももOKで比較的広い物件があるという。親切な不動産屋さんには申し訳ないと思ったが、やはりちょっと怖いのと(一緒に下見に行ったり、何処に住むかが分かったりすると)、先日仮契約を済ましたところで扱っているものなら手付け金の損失を防げると思ったので担当の人に問い合わせたら、そこでは扱っていないかったが(残念)扱っているところを教えてくれたので、早速明日物件を見に行く約束をする。

7月×日 残すところ後15日という所でついに見つけた。6畳と3畳に6畳の台所と風呂。洗面台が別個にある。天袋も沢山ある。北向きなのが難点だが、1階だしベランダも広く台所からも出られる

し、裏のマンションの雰囲気が好き。家賃は12万円だが、会社から歩いても10分かかる。保育園も5分。笹塚の手付け金はワイになるけど、家賃も予定より2万円高いけど、時間と、毎日の快適な生活を思えば、決して高くない。速断即決した。

☆ ☆

その後、結果的に下の子どもが一番近い保育園の選にもれて千駄ヶ谷の保育園になつてしまつたり、契約料を払うために借金に奔走したりいろいろありましたが、以上のような経緯でやつとほぼ条件にあった所が見つかりました。さらに引越した1カ月後、隣の南向きの部屋が空き、大家さんの好意で家賃もそのまま移らせて頂いたので、少々狭くはなりましたが日当たりも良好です。母子家庭で小さな子どもが2人もいるのに、入居をOKしてくれて、その上日当たりのいい部屋に移らせてくれて、と感謝しつつも不思議に思っていました。大家さんはなんと民生委員だったということ、もちろんお人柄もありこのように親切にしてくださいですが、本当についていました。来年は長男が

小学校に上がりますが、それもアパートから見える距離。長女も代々木保育園に移れますし、しばらくはここにいたいと思っています。

少し特殊な家探しだったかもしれないませんが、母子家庭だからというところで、デメリットがあるといわれるのは、子どもが「うるさい」「家をいためる」という理由で拒否されるということ、母子家庭であるということに伴ってくる収入の低さや、保証人の問題といった具体的な事実だという事を実感しました。でも、あながち冷たい不動産屋さんばかりでなく、当たって砕ければ結構親身に探してくれということもあります。

機会があったらまた別の角度から、母子家庭のアパート探しがなぜ大変なのか、もっと掘り下げてみたい。できれば、問題点をクリアする方法がないものか、考えてみたいと思っています。

アパート探しで困ったこと、困っていること、思っていることなどありましたらお便りください。お待ちしております。



Q 今年2月、夫が死亡致しました。残ったものは借金だけでした。婚姻中も若い時からのギャンブルが原因でずっと借金とのお付き合い、サラ金地獄の日々でした。死後もサラ金の督促、区役所より税金の督促です。私も親子、亡夫の弟妹全員が家裁へ相続放棄を申し立て受理されました。

区役所へ未納の税金、サラ金業者への対応等どのようにしたらよいのでしょうか？ 家裁でいただいた証明書をその度ごとに送ったらいのでしょうか？ 某銀行でのローンの残りがありますが、銀行では「そんな例は今までのないの」と言われました。それから私には遺族年金がいただけるように通知がきましたが、相続放棄しても年金はいただけるのでしょうか？

A 長い間ご苦労さまでした。最後のしめくりが相続放棄でさぞ苦しかったことでしょう。ご質問の件、各債権者に対して相続人連盟で相続放棄をしたことのお知らせの文書を申述受理書のコピーを同封して送られればよいと思います。相続放棄の効果は債権者の業種によって左右されませんので皆さん同じ方法でよいで

弁護士 110番

す。銀行員が相続放棄の制度を知らないというのはその人が無知なだけです。放棄したと伝えてもなお返済を要求するなら支店長等上司に抗議されると改善されるはず。サラ金業者の中には悪質なものもいて放棄をした相続人等支払い義務のない者に対して請求することもあります。支払い義務のない者に対する請求は貸金業規制法、それを受けた大蔵省銀行局長通達で違法取立として禁止されていますので、確信をもって毅然と抗議し、それでも相手が改めないなら、弁護士の名前で抗議文書を出してもらつと通常取立は止まります。都道府県庁の金融課に指導を求めてもいいです。なお相続放棄で放棄するのは遺産を相続する権利ですから、民法上遺産に属さない権利はそのまま生きます。あなたの年金受給権は当然のこととして、税務上はみなし相続財産として扱われていても民法上相続財産でないもの、例えば生命保険金等は相続放棄してもらえません。今までご苦労なされた分、これから幸せに過ごしてくださいませう。

弁護士 竹川幸子

ハンド・イン・ハンドは、みなさんがつくる雑誌です。

みなさんの日常考えていることや、生活の匂いが伝わってくるような、そんなハンド・イン・ハンドでありたいと思います。お便りをどうぞお寄せください。

■心強い友人が欲しいです

(35歳・東京)

いろいろ話し合える友人がいると心強いと思います。ご連絡ください。

■文通してください

(34歳・埼玉)

別居生活4年を経て去年離婚した34歳。9歳と6歳の男児をもつ私です。現在、祖父母と一緒に暮らしています。どなたか文通してください。くださる方、いらしゃいせんか。この頃やっとそんな気持ちになれるようになりました。ハンドの会員の方なら私の気持ち、わかってくれると思います。よろしくお願いします。

■これから育児の方と文通希望

(?歳・鹿児島)

7月号を初めて手にし、パイタ

リティあふれた仲間がいることを知り、嬉しく励まされました。私は平成3年8月20日より別居が始まり、平成4年6月3日に調停離婚が成立しました。

現在、私の実家に両親、8カ月になります次男と私4人で生活しております。現在は育児に専念しておりますが、お誕生が来てから看護婦として働くつもりです。

別居中に次男の出産があり、母乳も出ず、自律神経失調症に似た症状があり暗く、自分を責めるばかりの毎日でした。

しかし今は友人や知人、子どもや親のほげましの中で元気になるという意欲が出て来ています。円先生の「離婚を選んだ女たち」穴があくほど読みました。また女性のための地位向上につながるサークル作り、ありがたいものです。

次男も満8カ月を順調に迎え、前向きに生きてゆくつもりです。同じような思いをお持ちの方、お手

紙ください。また、これから育児でハッスルされる方との文通を希望します。

■転職の秘訣教えてください

(37歳・大阪)

「ハンド・イン・ハンド」いつも楽しみに読ませていただいています。励まされることや考えさせられることが数多くあります。

現在、私は失業中です。不況の波にあおられて派遣で1年以上、働いていたのですが、5月末日で契約を切られてしまいました。

派遣という形で働くことの不安定さを身にしみて感じ、6月から正社員の職を求めて求職活動をしておりますが、自分に合ったところがなく、辛い日々を送っております。派遣の前に商品企画の仕事をして2年ほどやっていて(契約社員で)できればそういう仕事をと探しているのですが、皆無に近い状況です。37歳という年齢を企業はなかなか受け入れてくれず、履歴書は返送されてくるばかり。

今では手当たり次第、どんな仕事でも……と、2日か3日に一度の割り合いで面接に行っていますが、

不採用という結果もしくは自分自身でどうにもダメだと思ってしまうところばかりであせっています。

人材紹介センター等にも足を伸ばして登録を済ませましたが、「お年を召されていますからご紹介できるかどうかわかりません。37歳といえます」ともキャリアが要求されますから」という返事。

子どもがやっと中学生になり、時間的にも何とか正社員でやっていけるかなという覚悟ができたといえ、厳しい現状にぶつかり、気が滅入る日々です。

この何年間かパート↓契約社員↓派遣、と子どもの成長により勤務形態、職を変えてきましたが、不況の時期とぶつかり、転職はかなりの根気と時間を要しそうです。

仮に男性と平等だとしても、男性並みの「企業戦士」となるにはかなり厳しい覚悟や体力も要ります。もちろん子どもにも大分犠牲を払わないと……。

こんな世の中ですが、今私はハンドを通じて知り合えた友人達と励まし合いながら生きています。

私のように転職を考えている人もいます。本業以外にアルバイトや内職(サイドビジネス)をもち

ながらその日を懸命に生きている人たちも少なくありません。

そこで是非、転職で成功したとか、秘訣や情報を聞かせていただけたらと思うのです。自立する上で最も重要なことがらですから。皆さまの意見、お聞かせください。

■プログラマーとして出発します

H・A（?歳・東京）

この4月より入会させていたいただいている者です。

6月の講座にも初めて参加しました。同じような立場の人と知り合いになったかったです。おかげで小さい子どもを抱えて悩んでいる人と話ができてほっとしました。離婚という悩みはそういう状況になってみないとなかなか分かりあえないものですよね。

私は現在別居3カ月です。昨夏毎日「今晚のおかずは何？」と電話してくるような夫が突然「今までは偽りの日々だった」「お前が俺の人生をむちゃくちゃにした」と言い出し、精神的な虐待の日々が始まりました。そして秋に2カ月の別居。結局、愛人がいたことがわかりました。不倫をして1カ月

もたないうちに彼女に「結婚して」と言われてその気になって、私の性格の悪いことを理由にして離婚し、ほとぼりの冷めたところで彼女と結婚しようとして組まれたわけです。

それでも4歳の男の子もいることだし、今回のことは忘れていいからなんとかやり直そうと、今年の3月まで同居しました。

でも一度できた溝は深く、夫は彼女と別れたのに優しい夫には戻りませんでした。彼女と不倫して私との性的不一致に気付いたということになるのでしょうか。不倫がばれてからは私に対する執拗なセクハラが始まりました。

「この役立たず女」とか「君もみじめだね。男を喜ばすことができてなくて」とか、私のスカートをまくって子どもに「ここをさわってみろ」とか言うのです。私ももうこの人は私のことをパートナーとしてまともに見てくれる気はないのだということを知りました。

子どもの幼稚園の手続きをあらわてすませ、4月より東京の実家に戻ってきています。とにかくこれ以上、不幸を広げないこと、今が最低だと思ってあとは上向きに

行くだけだと頑張るだけです。

そろそろ仕事も少しずつ始めようと思っています。私はいざというときのために（まさか離婚とは思いませんでしたが）何かできた方がよいと思ってコンピュターの情報処理の資格を取っていました。夫婦仲がおかしくなるまではパートですがプログラマーとして仕事をしていたので、その方面でやっていくつもりです。

■一人暮らしを始めます

（?歳・長野）

7月30日に主人との7年間の生活にピリオドを打ちました。別居ということを考えずに別れる時は離婚。あやふやな気持ちでいるよりははっきりした方がいいと考え続けていました。

主人は大本家の長男。親戚も近くに多く、家族も義祖母、義父母、義弟、妹とそれは大変な家でした。特に義母の存在が強く、もちろん主人も母親の言いなり。いろいろなトラブルが続き（やはり義母との）別居という形になりましたが、あまりスムーズにはいかず、何かとその後もありました。その間に娘も生まれて子ども中心の家庭へと少々落ちていたのですが、や

はりかなり辛いこともありました。私もこの娘がいなかったらとも考えたこともありましたが、娘にとっては唯一の父親でしたので大目に見ておりました。しかし……私達の娘が突然、昨年の3月に病にかかって入院し、たった2週間余りで一人旅だってしまいました。4歳6カ月という短い命でした。とてもとても信じられず、しばらく何もわからない状態でした。だってすごく元気な娘でしただけに……。

その後、同じ年に今度は義母が病のために亡くなりました（以前から体の調子は悪かった。1年にこんなひどいことが2度もあり、もう信じられませんでした）。

そのせいか主人はかなり力を落とし、娘の時以上に辛そうでした。そして突然家の方に入ると言い出し、結局、私より親と家の方を向いてしまいましたので仕方ありませんでした。主人とは環境も考え方もまったく違い、無理だったのでしょう。そう思えるほどでした。今後は一人アパートで暮らします。私の両親、姉夫婦が同じ市内にいてくれますので多少、心強いことはまちがいないと思っています。

す。先日は主人との思い出の品、娘との思い出の品を市内のバザーへ無料のような価格で出してしまい、このくらい思い切りがないとこの先やっていけないし、いいこともないと思えたのです(しかし少々後悔したのもあります)。いろいろ考えているより大変なことはわかってはいますが、とにかく自分を大切に一度の人生を無駄にせずやっていくつもりです。きつと娘もその方が笑顔でみてくれると思います。

振り込み通信欄から

■親権を取るのには女性の方が有利

O・W(男性・31歳・東京)
134号でR・Hさんが「お金のある方が親権も取りやすいような」と言われていましたが、私は自分の経験を通じて母親の方が圧倒的に有利だと感じてきました。親権者を選定する時、親権を主張する双方がほぼ同等の条件で養育にあたるのが可能ならば、母親を親権者に選ぶ、と調停委員は言っていました。生計の面で母親の方が不利という場合、養育費を請求すれば済むことです。

一方、父親が親権を主張した場合、「お勤めがあるのに十分な養育が可能ですか?」と問われます。働

きながら養育するというのでは母親も父親も同じだと思えます。「養育はおなかを痛めて生んだ母親がするもの」とした意識が調停委員(特に男性の方)の間に根強いような印象を受けました。私の場合「必ずしも親権にこだわらな

いが、母親が資格・技術を得て就業し、生計が安定するまでは父親が養育すること」を提案してましたが、母親が「現状は十分に安定している」と主張したので私の提案は無視されました。

しかしながら正式離婚後しばらくして彼女は無職状態が続き、毎月の養育費とは別に不本意ながら生活費を援助しました。母親と父親が子どもの成長に誠意をもって協力しあうこと、子どもがそれを親に望むのは当然の権利だと考えます。とはいえ、離婚した元夫婦間にいる疑心暗鬼はたいへん厄介なもの。常々悩んでいます。

■やっぱり一人暮らしがいいかな
(?歳・埼玉県)
毎月、拝見してはいろいろ考えさせられます。

40をこえてしまい、一時は再婚

しようかと思うこともありましたが、いろいろあり、今はやっぱり一人で暮らしている方がいいのかなと思っています。ハンドはやめることも考えましたが、もう少し会員でいることにします。

■勤続27年になりました。
(48歳・大阪)

毎号楽しみに読ませていただいております。

今年48歳、勤続27年になりました。でも次男が現在、高校3年生です。その後の私自身の人生や老後問題などが関心事です。

■光熱費ってかかりますよね
(?歳・東京)

思うのですが、光熱費って毎月けっこうたいへんです。基本料金ってなんとかならないのでしょうか。特に電話代。我が家は通話料より基本料金がはるかに上です。学校の連絡ぐらいいし使っていないのに。町の自治会費もばかにできません。あれこれケチくさいかもしれないけど、毎月になるとたいへん。

■事務局便り

★31にしてファミコンに夢中です。ソフトはマリオのお絵描きベイント。小学生にも人気とか? あんなのを駆使するとは最近の子はスゴイ! 私なんて機械はテレビぐらいいしか使ってなかったのに。時代ですね。(雪野)

★研修会の6期が始まりました。電話相談も多いので、頑張らなければと思いつつ。(小木)

★8月末に引越して通勤が楽になり、少し位寝坊をしても平気です。エヘヘ!! (向井)

☆ニコニコ離婚講座の第3部、グループカウンセリングが好評です。同じように危機にある人同士で話しあうことは、問題解決への大きな力となるようです。

10月6日(火)から、福山和女先生による「クライシス・サポートグループ」が始まります。

さまざまな危機を乗り越えるための計6回のコースです。3月までの第1火曜日の午後3時から5時まで。分室で。参加費4万円。お申し込みは3402-7354、佐藤・向井まで。



第143回ニコニコ離婚講座

10月31日(土) 午後1時～4時30分。飯田橋セントラルプラザ6Fで(JR飯田橋駅下車隣り)。金住典子弁護士による「離婚の法律と手続き」他。参加費は2000円。要予約。

☎03(3402)7354

会合のお知らせ

★大阪のニコニコ離婚講座

10月15日(土) 午前10時半～。大阪府立文化情報センター(住友中之島ビル5F)で。講師は松尾道子弁護士。

竹川法律事務所

☎06(393)1331(渡部)

★東京の会合

10月31日(土) 午後6時30分から。新事務所ハンド139号の発送をしながらおしゃべり。(担当)

お世話係

お世話係は相談員と違います

「よくいろんな相談を持ちかけられて困ることがある」。こんな話を

お世話係の方々から頻りに聞きます。そこで強調しておきたいのですが、お世話係は相談員ではありません。ですから相談等の連絡はなさらないようお願いします。

お世話係は、会員相互のつながりが少しでも広く強くなっていくきっかけになればという事で、会合の呼び掛けや連絡事務等を引き受けてくださっているボランティアの方々です。そのところをよくご理解ください。

お世話係の方も、相談の電話がきたら悪いなどと思わず、きっぱり「相談はできません」と断わってください。

それからお世話係の方々には、数カ月に一度で構いませんから、いつでもどこでという人達と会って何をしてどうだったというような活動報告をいただけるようお願いしたいと思っています。各地でどんな動きがあるのかを把握し、今後に役立てていきたいと思うのです。

ご注意ください

非常に残念なことなのですが、ハンドの男性会員の中に1人、連絡くださいコーナーに載った方々に片っ端から連絡を取っては再婚相手を探している方がいらっしやい

ます。以後ご注意ください。

このコーナーに出ることは、友人が探せるというメリットと同時に、こうした不愉快な連絡を受けるリスクも招いてしまいます。でも、これはある意味で仕方ないこと。変な連絡がきたら軽く受け流して無視するようお願いします。

合併号の連絡ミスごめんなさい

131・132合併号に引き続き今回もまたまた合併号のお知らせをしておくのを忘れていました。同じミスを2度も繰り返してしまっただけにすみません。発送モレかと心配なされた方ごめんなさい。今後は1年分の計画表を作って二度と同じミスをしないよう気をつけるよう致します。

電話相談日時の変更

離婚一〇番の曜日と時間は左記の通りです。時間、番号等おまがえのないように。

☆離婚一〇番

03-3402-7354
03-3402-4385

第2、第4木曜日が午後2時～5時。第1、第3、第5木曜日が午後6時半～9時半。